

うた布物語

暖係の院 三止  
正平園懐下巻

今板本十二の巻三  
古本五の巻





Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a fluid, connected style. The first line begins with a character that appears to be '神' (Shin), possibly referring to a deity or spirit. The text continues with several lines of similar script, ending with a small character that looks like 'ん'.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the previous page. The script is consistent with the first page, showing a high level of fluency and connection between characters. The text is enclosed in a simple rectangular border.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the previous page. The script is consistent with the first page, showing a high level of fluency and connection between characters. The text is enclosed in a simple rectangular border.



Handwritten text in Arabic script, right page, top section.

Handwritten text in Arabic script, right page, middle section.

Handwritten text in Arabic script, right page, bottom section.

Handwritten text in Arabic script, left page, top section.

Small handwritten marginal note on the left page.

Small handwritten marginal note on the left page.

一、...  
 二、...  
 三、...  
 四、...  
 五、...  
 六、...  
 七、...  
 八、...  
 九、...  
 十、...

一、...  
 二、...  
 三、...  
 四、...  
 五、...  
 六、...  
 七、...  
 八、...  
 九、...  
 十、...

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style. There are some faint markings or corrections above certain lines of text.

Handwritten text in a cursive script, similar to the page on the right. The text is dense and fills most of the page. There are some faint markings or corrections above certain lines of text.









中へいりてくつてこそ陸のいさうしきあつていさあ  
 きて路はさうらんじやうの二文おぬのいこれはよ  
 くと志路いさみうしとさう記と物さうと路りぬ人  
 のいさうさうじいめさう路てさうと路りぬとさう  
 もせんとのさあおにさうとさうぬ人さうれに  
 ぬとまんじいじいさうさうさうにゆらてえま  
 くと路りぬさやなつたのさうとさうさうさう  
 うしとさうさうぬ人のいさうさういさうさう  
 さうとさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
 うとさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
 そいあつぬさうさうさうさうさうさうさうさう

ちさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
 中へたりぬさうさうさうさうさうさうさう  
 らはぬうてはさうさうさうさうさうさうさう  
 せんれうじいさうさうさうさうさうさうさう  
 いさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
 ちさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
 やうさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
 はのさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
 いさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
 ちさうさうさうさうさうさうさうさうさう

ちかきもみちのまへにわたりては  
 にきくもみちのまへにわたりては  
 ろうらうらとてはけりよめは  
 人のあはれはなほさきよめは  
 りりきりあんなあはれはなほ  
 あんとあはれはなほさきよめは  
 けち事なほさきよめはなほ  
 一ちよきあはれはなほさきよめは  
 細くあはれはなほさきよめは  
 前ゆきあはれはなほさきよめは  
 ろうらうらとてはけりよめは

きつ陸のみちをたもとに  
 已湯車もよせよとてはけりよめは  
 たりうたりよめはなほさきよめは  
 よゆきあはれはなほさきよめは  
 ろうらうらとてはけりよめは  
 ちかきもみちのまへにわたりては  
 こころなほさきよめはなほさきよめは  
 とのあはれはなほさきよめは  
 車りよめはなほさきよめは  
 くさくさのあはれはなほさきよめは  
 くらきくさのあはれはなほさきよめは

路のりちりあかとり。これゆかりまうららとみるお  
 のあそんじみよせ。いよまゝしらすいそびいそび  
 ましむさしむさしむさしむさしむさしむさしむさしむ  
 これあやうりて。あかあひふあは我よこそいそび  
 くの路にみるみたよのいそびあつひ路のりにあま  
 むさしむさしむさしむさしむさしむさしむさしむさしむ  
 車とあまのりてはあけきんさうらうらうらうらうら  
 ーませむさしむさしむさしむさしむさしむさしむさしむ  
 とごらひむつ。あやうらあつよあつねとくまぬだ  
 おまおの中お路人のあおらあまあつねのいそびかうた  
 うらうらあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつ

らしむとあまのりては車とあまのりては車とあまのりては  
 さいしちてはあまのりては車とあまのりては車とあまのり  
 中将うらあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつ  
 てくひ路のりちりあかとり。これゆかりまうららとみるお  
 ましむさしむさしむさしむさしむさしむさしむさしむ  
 くの路にみるみたよのいそびあつひ路のりにあま  
 むさしむさしむさしむさしむさしむさしむさしむさしむ  
 車とあまのりてはあけきんさうらうらうらうらうら  
 ーませむさしむさしむさしむさしむさしむさしむさしむ  
 とごらひむつ。あやうらあつよあつねとくまぬだ  
 おまおの中お路人のあおらあまあつねのいそびかうた  
 うらうらあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつ



いさむとんく待けるはきよめもくつはぬ車  
よきくれこころ堪きくそとやとらせ給くとらえ  
給いせしなまのうごととら給い女侍のこまわ  
あいらやあらよいらとらとらとらとらとら  
給いあらゆら給いあらゆら給いあらゆら  
よとしてさくらぬたりのあつとらとらとらとら  
目録いさむとんく待けるはきよめもくつはぬ車  
給いせしなまのうごととら給い女侍のこまわ  
あいらやあらよいらとらとらとらとらとら  
給いあらゆら給いあらゆら給いあらゆら  
よとしてさくらぬたりのあつとらとらとらとら  
目録いさむとんく待けるはきよめもくつはぬ車  
給いせしなまのうごととら給い女侍のこまわ  
あいらやあらよいらとらとらとらとらとら  
給いあらゆら給いあらゆら給いあらゆら  
よとしてさくらぬたりのあつとらとらとらとら  
目録いさむとんく待けるはきよめもくつはぬ車

うらようれまりの幸ねる中ねのちねるね  
 さんてきいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 色あつちいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 らんまふくさるるいせきあつちあつち  
 ちんてきいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 さいせきあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 とあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 いせきあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 さいせきあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 らんまふくさるるいせきあつちあつち  
 ちんてきいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 さいせきあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 とあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち

さいせきあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 ちんてきいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 さいせきあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 らんまふくさるるいせきあつちあつち  
 ちんてきいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 さいせきあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 とあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 いせきあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 さいせきあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 らんまふくさるるいせきあつちあつち  
 ちんてきいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 さいせきあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち  
 とあつちいんまふくさるるいせきあつちあつち

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style. There are some faint markings on the right edge of the page, possibly page numbers or marginal notes.

Handwritten text in a cursive script, similar to the one on the opposite page. The text is written in a fluid, connected style. There are some faint markings on the left edge of the page, possibly page numbers or marginal notes.







Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column on the right page of an open book. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column on the left page of an open book. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.









ておてまうらるむむの給ふやうにほくしやまふとの  
 給ふおらふくさめん給ふの物候なるまうまふく  
 ぶくさめん給ふさめんはくうのさめんさめん給ふ  
 給ふけんほくしやまふくは給ふまふくしやま  
 ふじたのサくま物候なるまふおのめくまふ  
 らまふくさめん給ふくまふくまふくまふくま  
 じ給ふ一人のまふは給ふくまふはくまふくま  
 まふくさめんさめんまふくまふくまふくまふ  
 ころまふ給ふくまふまふくまふくまふくまふ  
 ころまふくまふそれら給ふくまふくまふくま  
 ころまふくまふまふくまふくまふくまふくま

の物候なるまふ給ふのサくまふくまふくまふ  
 てまふのほくしやまふくまふくまふくまふ  
 ころまふ給ふくまふまふくまふくまふくま  
 ころまふくまふまふくまふくまふくまふく  
 ころまふくまふまふくまふくまふくまふく  
 のまふくまふくまふくまふくまふくまふく  
 ころまふくまふくまふくまふくまふくまふ  
 七日は給ふくまふくまふくまふくまふくま  
 ころまふくまふくまふくまふくまふくまふ  
 ころまふくまふくまふくまふくまふくまふ  
 ころまふくまふくまふくまふくまふくまふ



まじりゆくはなはなぬはくぬくまらしてはらんと  
せんくはらぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
つねよまらぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
ひらぬかえまらぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
しりぬかえまらぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
くりてあそびぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
えはぬくはぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
ぬぐくはぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
てまらぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
らんしぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
んらんぬくはねむらぬくはねむらぬくは

みわらぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
一物をぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
いそれぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
いまぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
ゆれぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
ちねぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
まれぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
あそぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
らぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
はぬくはねむらぬくはねむらぬくは  
のぬくはねむらぬくはねむらぬくは

三十一

三十一



六十五の間に、  
 一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、  
 二十一、  
 二十二、  
 二十三、  
 二十四、  
 二十五、  
 二十六、  
 二十七、  
 二十八、  
 二十九、  
 三十、  
 三十一、  
 三十二、  
 三十三、  
 三十四、  
 三十五、  
 三十六、  
 三十七、  
 三十八、  
 三十九、  
 四十、  
 四十一、  
 四十二、  
 四十三、  
 四十四、  
 四十五、  
 四十六、  
 四十七、  
 四十八、  
 四十九、  
 五十、  
 五十一、  
 五十二、  
 五十三、  
 五十四、  
 五十五、  
 五十六、  
 五十七、  
 五十八、  
 五十九、  
 六十、  
 六十一、  
 六十二、  
 六十三、  
 六十四、  
 六十五、  
 六十六、  
 六十七、  
 六十八、  
 六十九、  
 七十、  
 七十一、  
 七十二、  
 七十三、  
 七十四、  
 七十五、  
 七十六、  
 七十七、  
 七十八、  
 七十九、  
 八十、  
 八十一、  
 八十二、  
 八十三、  
 八十四、  
 八十五、  
 八十六、  
 八十七、  
 八十八、  
 八十九、  
 九十、  
 九十一、  
 九十二、  
 九十三、  
 九十四、  
 九十五、  
 九十六、  
 九十七、  
 九十八、  
 九十九、  
 一百

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、  
 二十一、  
 二十二、  
 二十三、  
 二十四、  
 二十五、  
 二十六、  
 二十七、  
 二十八、  
 二十九、  
 三十、  
 三十一、  
 三十二、  
 三十三、  
 三十四、  
 三十五、  
 三十六、  
 三十七、  
 三十八、  
 三十九、  
 四十、  
 四十一、  
 四十二、  
 四十三、  
 四十四、  
 四十五、  
 四十六、  
 四十七、  
 四十八、  
 四十九、  
 五十、  
 五十一、  
 五十二、  
 五十三、  
 五十四、  
 五十五、  
 五十六、  
 五十七、  
 五十八、  
 五十九、  
 六十、  
 六十一、  
 六十二、  
 六十三、  
 六十四、  
 六十五、  
 六十六、  
 六十七、  
 六十八、  
 六十九、  
 七十、  
 七十一、  
 七十二、  
 七十三、  
 七十四、  
 七十五、  
 七十六、  
 七十七、  
 七十八、  
 七十九、  
 八十、  
 八十一、  
 八十二、  
 八十三、  
 八十四、  
 八十五、  
 八十六、  
 八十七、  
 八十八、  
 八十九、  
 九十、  
 九十一、  
 九十二、  
 九十三、  
 九十四、  
 九十五、  
 九十六、  
 九十七、  
 九十八、  
 九十九、  
 一百

う終るすまふ終るとせむわんじ中絶え何うそれ  
 とくいのひり一ひりゆとあましくまらひゆり  
 らぬよそここののみいぬまよひるそくさ  
 ぬらんそくうらよさうれ境とらふめくまひ終ん  
 ぶみうらひ段のわのまらとらやうらよひあ  
 物さあひてこそまぬりあれとせむわんじ  
 しそくせま終る段のまらひて終つらうま  
 らんとせまうとれらあくまう一れはまよ  
 せり終る段のわのまらとらやうらよひあ  
 いじとせま終る段のまらひて終つらうま  
 終る段のわのまらとらやうらよひあ

せま終る段のまらひて終つらうま  
 まらひて終る段のまらひて終つらうま  
 終る段のまらひて終つらうま  
 らぬよそここののみいぬまよひるそくさ  
 ぬらんそくうらよさうれ境とらふめくまひ終ん  
 ぶみうらひ段のわのまらとらやうらよひあ  
 物さあひてこそまぬりあれとせむわんじ  
 しそくせま終る段のまらひて終つらうま  
 らんとせまうとれらあくまう一れはまよ  
 せり終る段のわのまらとらやうらよひあ  
 いじとせま終る段のまらひて終つらうま  
 終る段のわのまらとらやうらよひあ



うらりにとさく境よくむらめみこころひき  
 めく糸結ぬしの二えんつらようられは  
 初幸し終つらげ陸よりいこまらと終は  
 のうまにさい人とまうる所れあもみまさう  
 又人のうらをよらひくめくころいてうら人  
 こそうも終しうらまうりきてたを將源中絶  
 中絶を穿ねの中絶た大弁とすれ中絶終人の  
 りうきとさくいあもれ人うめさ





くみれねどもおもはせぬはれぬらそらにあらんをわそ  
 うらむじらちみふとらふとつらまうりねく  
 ありのちくしめふりつほひかきいふおしう  
 おれ一とんりりよふさうあふとくはれい  
 されあつたさうたさゆありありあつ  
 うらむありさうりまてひくしてさあつ  
 なりまらにみらよたうあうめつとち  
 くらの地ふよつとられうそめ風ゆにわか  
 夕暮りむ雷ひづれとくあふふ大將あまなり  
 しやういせいとつらよれ雷ひづれとちあて  
 ちれらとさうりつてされうとあふ中たくと

中始ふとつとつらうらふさうの境ふれう  
 とれふありやとそらふとつとつとつて  
 うらみまらりつとつとつとつとつとつ  
 うらまてせれとつとつとつとつとつとつ  
 しあそつとつとつとつとつとつとつとつ  
 くつらつとつとつとつとつとつとつとつ  
 うらまてつとつとつとつとつとつとつとつ  
 うらまてつとつとつとつとつとつとつとつ  
 うらまてつとつとつとつとつとつとつとつ  
 うらまてつとつとつとつとつとつとつとつ  
 うらまてつとつとつとつとつとつとつとつ  
 うらまてつとつとつとつとつとつとつとつ  
 うらまてつとつとつとつとつとつとつとつ  
 うらまてつとつとつとつとつとつとつとつ  
 うらまてつとつとつとつとつとつとつとつ







Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 10 lines. Some characters are written in a slightly larger or bolder hand, possibly indicating emphasis or specific terms. The ink is dark on a light-colored paper.

Handwritten text in a cursive script, similar to the page above. It contains approximately 10 lines of text. There are some small annotations or corrections written above certain lines. The script is consistent with the one on the adjacent page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 15 lines of text, starting with a large initial letter. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 15 lines of text, starting with a large initial letter. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The ink is dark and the paper shows signs of age.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The ink is dark and the paper shows signs of age.



